



駅を見守り、人びとのよき一日を見守る。

大分と熊本を結ぶJR豊肥本線は、「阿蘇高原線」とも呼ばれる。その愛称どおり、カルデラという大鍋のなかを横切っていく列車だ。「全線単線、無人駅も多く、のどかな鉄路である。内牧駅も無人駅に含まれるが、集札や定期券販売、清掃などの仕事を松本直美さん写真とそのご主人、石松一子さん写真の三人で請け負っている。駅というのは、交番や郵便局と同じく町の「解説所」であると同時に「ふれあい施設」でもある。朝の常連客、通学の学生たちにとっては、居てくれてあたりまえ、居てくれなければとても困る存在。つまり「駅守(えきもり)」なのだ。

豊肥本線内牧駅 松本直美 石松一子



自分を確かめるつもりで試験を受けた。

阿蘇をデザインした「然」バスが走る。「なんだかウキウキするね、とお客さまから好評です」。そう語る春山義富さんは、かつてホテルマンとして送迎バスの運転に携わっていた。あるとき一人の乗客から「あんたの運転は荒いね」と言われた。誠実な人柄ゆえ、こたえた。確かめるつもりで現在の会社の試験を受けた。落ちたらこの道と縁を切ろう、と。むろん合格して今があるわけで、以来「度も「荒い」と評されたことはない。「野焼きで真っ黒の山が、緑へ、紅へ、白(樹氷)へ変わるさまなど……」乗客といっしょに阿蘇の魅力に浸るよさを味わっている。

九州産交バス阿蘇営業所  
春山義富



四季の色彩が、回復力を促してくれる。

スタッフ全員「思いやりが深い人ばかりです」。リーダー林寿恵科長(写真・前から三列目中央)は言う。「患者さんやそのご家族が何を求めいらっしゃるか」考え抜いたうえで行動している。かつてJICA(青年海外協力隊)としてパキスタンで理学療法士の活動を経験してきた林さん。制度も救済も何もない地で痛切に感じたのは、地域の大切さ、誰かが誰かに手を差しのべることの大切さだった。その思いがリーダーとして活動するいま、確かな原動力となっている。病院は温泉街(内牧)のまんなかに建つ。散歩に出て深呼吸すれば四季の山々の景色が回復力を促してくれる。

阿蘇温泉病院 リハビリテーション科

火の国阿蘇の  
恵みのブランド

然  
zen  
Aso City

あるがまま、という貴さ。  
人と自然が共作する阿蘇。

然についてのお問い合わせは、  
阿蘇市「草・観・然」活性化事業推進会議事務局  
(阿蘇市観光課)  
TEL. 0967-22-3174 / FAX. 0967-22-4566

aso-zen.com

● 阿蘇の自然を舞台にした人びとの営みこそ大きな力を持っている、という考えで2013年秋にスタートした「火の国阿蘇の恵みのブランド-然」。活動の広報として、お一人お一人のポスターを制作しています。

● 「然の人びと」は現在も取材進行中です。輝いている阿蘇人をどしどしご紹介ください。自薦他薦を問いません。



CONTENTS もくじ

- 04 平成27年度市政報告会 質疑応答 Q&A
- 10 市の人事行政運営状況
- 12 阿蘇広域行政事務組合 平成26年度決算報告
- 13 マイナンバーが記載された通知カードは届きましたか？
- 14 まちの話題
- 18 2015 火山砂防フォーラム in 阿蘇レポート
- 20 市役所からのお知らせ
  - ▶ 要援護者などに対する火山灰の除去費用助成
  - ▶ 水銀体温計・血圧計の回収
  - ▶ 公用車「塵芥車」を公売します
  - ▶ 12月3日～9日は「障害者週間」です
  - ▶ 平成28年度放課後児童クラブ入所案内
  - ▶ 農業者委員選挙人名簿の掲載申請廃止
  - ▶ 市税等の納付は便利な口座振替を！
- 25 ASO 田園空間博物館通信 No.62 ▶ 田空わがまち自慢
- 26 年末年始の各種お知らせ
- 27 人権作文 ▶ 森文翔さん
- 28 暮らしの情報
- 30 地域医療！阿蘇医療センター通信 No.2
- 31 図書館へ行こう！
- 32 暮らしカレンダー・お慶び・ご寄付
- 34 分館活動紹介 ▶ 乙姫分館
- 35 地産地消クッキング
  - ▶ 簡単かけそば
 さわやかフレッシュマン ▶ 成田香都希さん
- 36 阿蘇ジオパーク探訪
  - ▶ 古閑の滝ジオサイト



阿蘇地域植樹祭が11月19日、来年4月開校予定の一の宮小学校で開かれ、関係者や緑の少年団の子どもたちなど約50名が参加しました。

次代を担う子どもたちに森づくりの大切さを学んでもらおうと阿蘇森づくり協議会（阿南忠治会長）が毎年開いているもので、今回、波野小緑の少年団9人がヤマザクラやドウダンツツジを植えました。

夢を追いかける青少年の声を届けますー

## 夢を追いかけて

ぼくの将来の夢は、米をつくる農家になることです。

ぼくの家は、米をつくる農家をしています。お父さんの手伝いをしたときに、大きな機械やコンバインなど、いろんな機械を使って米づくりをしているのを見てすごいと思いました。お父さんの作った米は甘くておいしいです。

ぼくは、お父さんの米よりおいしい米を作りたいです。そして、たくさんの人においしいと思ってほしいです。

# 中西基

なかにし もとき／山田小学校・6年